

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：45項目

問題あり：3件

要確認：6件

問題なし：36件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

小西洋之（こにし ひろゆき）

- 記載内容：「小西洋之（こにし ひろゆき）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイト、Wikipedia確認

生年月日・出身地

- 記載内容：「1972年徳島県生まれ」
- 検証結果：✓正確
- 正確な情報：1972年1月28日、徳島県徳島市生まれ
- 根拠・出典：参議院公式サイト、Wikipedia

所属政党

- 記載内容：「立憲民主党所属」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイト、立憲民主党公式サイト

選挙区・当選回数

- 記載内容：「千葉県選挙区選出、当選3回」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、選挙ドットコム（2010年、2016年、2022年当選確認）

経歴

- 記載内容：「旧郵政省→総務省→経産省で課長補佐歴任」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイト

2. 数値情報

年齢計算

- 記載内容：文中で年齢に関する記述はなし
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：1972年1月28日生まれなので2025年現在53歳

質問主意書55本

- 記載内容：「2015年の臨時国会では一人で55本もの質問主意書を提出」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：政治山記事「小西洋之参院議員が1人で55件、質問主意書に制限は？」（2015年10月7日）

Twitterフォロワー数

- 記載内容：「約9.6万人に達しています」
- 検証結果：△要確認
- 理由：正確な現在のフォロワー数を確認できませんでした。記事では「2025年半ば現在」とありますが、現在のリアルタイムデータが不明

選挙得票数

- 記載内容：記事内に具体的得票数の記載なし
- 検証結果：✓正確（記載なしのため）
- 参考：2022年473,175票、2016年472,219票、2010年535,632票（選挙ドットコム）

3. 重要な事実関係

循環器病対策基本法

- 記載内容：「2018年末についに議員立法の形で悲願の成立に至りました」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：「脳卒中・循環器病対策基本法の成立を求める会」サイト（2018年12月10日成立確認）

サル発言問題

- 記載内容：「2023年3月、小西氏が記者とのオフレコ懇談で『衆院の憲法審査会を毎週開催するのはサルがやることだ』と発言」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、各種報道記事で2023年3月29日の発言として確認

参院憲法審査会筆頭幹事更迭

- 記載内容：「立憲民主党執行部は小西氏を参院憲法審査会筆頭幹事のポストから外し、事実上更迭する処分を行いました」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：日本経済新聞（2023年3月31日）、Wikipedia

当選年

- 記載内容：「2010年の参院選で民主党公認候補として初当選し、その後2016年（民進党）、2022年（立憲民主党）と連続当選」
- 検証結果：✕誤り
- 正しい情報：2010年初当選時は民主党、2016年は民進党、2022年は立憲民主党で正確。ただし、初当選時の詳細な政党名確認が必要
- 根拠・出典：Wikipedia、選挙ドットコム

議員歴

- 記載内容：「議員歴は通算15年以上に及びます」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：2010年7月当選から2025年現在まで約14年6か月（「15年以上」は若干の誇張の可能性）

国会のクイズ王

- 記載内容：「『国会のクイズ王』とあだ名されるほど鋭い質疑が持ち味」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、各種報道で確認

問題があった箇所

1. **記載の一貫性**: 立憲民主党の期数について、記事冒頭で「当選3回」、後段で「3期目」と表記が混在
 - 検証結果：実質的には正確だが表記統一が必要
2. **年齢表記**: 記事中で具体的な年齢は明記されていないが、2025年現在53歳が正確
3. **Twitterフォロワー数**: 「約9.6万人」の根拠が不明確

改善提案

修正が必要な箇所

1. Twitterフォロワー数の具体的な確認時期と数値の明記
2. 当選回数の表記統一（「3回」「3期」の使い分け整理）

追加確認が推奨される情報

1. 最新のSNSフォロワー数
2. 具体的な議員立法の提出数と成立数
3. 政治資金収支の詳細データ
4. 最新の役職・委員会所属状況

全体的評価

記事の大部分の事実関係は正確でした。固有名詞、主要な政治的出来事、法案関係の記述は信頼できる情報源で確認できました。小さな表記の不統一や一部データの時点が不明確な点がありますが、重要な事実誤認はありませんでした。